

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	文京区放課後等デイサービスJOY			
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～	令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを話し合いながら立案していること。	・職員同士でコミュニケーションをとりながら、児童が楽しく遊べることは何かを考え、活動プログラムを立案していること。	・児童自らが発する意見を立案の段階から取り入れるように工夫していく。
2	活動プログラムが固定化しないように工夫していること。	・季節、イベントごとに合わせて変化のある活動ができるように心がけていること。 ・児童が楽しめそうなことをすぐに活動に取り入れること。	・実施した活動の検証の精度を高めることで、活動プログラムの構成をより良くなるように工夫する。

3	支援前にミーティングを行い、その日の支援内容や他の共有事項を対面で共有していること。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童受け入れ前のミーティングでは、必ず出勤している職員が揃い、対面でのミーティングを実施していること。 ・定例会を行っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き対面でのミーティングを実施し、意見交換のしやすい職場の雰囲気づくりに繋げていく
---	--	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域で本人支援以外の支援について事業所全体で理解を深めることが必要	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にサービスを提供する以外の支援方法について手立てが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域の本人支援以外の支援について、理解を深めるために事業所全体で活発な議論ができるように工夫する。
2	同年代との関わりが事業所内で完結することが多く広がりをもてない。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内でどのように同年代との関わり築いていくかを主として活動してるので、取り組みが事業所内で完結しているのだからの発展がまだ想像できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代との関わりの広がり考えるため、他の事業所のイベントに児童とともに参加するなどして交流はもっている。交流を続け、同年代との関わりについて深く考える工夫していく。
3	保護者同士の交流やきょうだい同士の交流についてどのような取り組みをしたらいいかイメージがもてない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流については、ニーズが高くない、どのようなことをしたら良いか職員もイメージがもてない。 ・きょうだい同士の交流については、ニーズの把握ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士やきょうだい同士の交流について、柔軟な発想でアイデアを出し合えるように工夫していく。